

成長投資、米欧に劣後

米欧は成長分野への戦略的な投資が目立つ

日本	米国	EU	米国
電気自動車や充電インフラ導入(400億円)	再生エネ拡大へ次世代送電網 約7.4兆円	電気自動車普及へ充電施設50万台所 約8600億円	イタリア 水素ステーション整備 約3兆円
データセンターの地方分散支援へ基金(500億円)	グリーン・脱炭素	デジタル化	成長産業の労働力開発 11兆円
岸田首相が人への投資「3年で4000億円」表明	リスキリング(学び直し)		

日本54%、ドイツ40%。
英國33%、米国29%。
政府が経済対策を練る過程で比べたコロナ発生後
は今回の対策も加わり、全体の規模は他国にひけを取らない。

55兆円超もの巨額資金を投じるにもかかわらず、持続的な成長につながるような明確な戦略は乏しい。成長戦略と位置づける科学技術関連や地方のデジタル化、経済安全部門に関する施策は財政支出の2割程度だ。大規模なのは5・5兆

円を追加する大学基金で、数百億円規模の海底ケーブル整備、継続的に取り組む農業輸出や地域観光支援など各省の要求を寄せ集めた総合的な色合いだ。

米欧は成長の道筋を描くために、集中的に資金を投じる。象徴が環境対策だ。米国のバイデン大統領は15日、総額1兆ドル(約1兆円)を投じる。象徴が環境対策だ。

米国は成長の道筋を描くために、集中的に資金を投じる。象徴が環境対策だ。米国のバイデン大統領は15日、総額1兆ドル(約1兆円)を投じる。象徴が環境対策だ。

米国は成長の道筋を描くために、集中的に資金を投じる。象徴が環境対策だ。米国のバイデン大統領は15日、総額1兆ドル(約1兆円)を投じる。象徴が環境対策だ。

米国は成長の道筋を描くために、集中的に資金を投じる。象徴が環境対策だ。米国のバイデン大統領は15日、総額1兆ドル(約1兆円)を投じる。象徴が環境対策だ。

米国は成長の道筋を描くために、集中的に資金を投じる。象徴が環境対策だ。米国のバイデン大統領は15日、総額1兆ドル(約1兆円)を投じる。象徴が環境対策だ。

米国は成長の道筋を描くために、集中的に資金を投じる。象徴が環境対策だ。米国のバイデン大統領は15日、総額1兆ドル(約1兆円)を投じる。象徴が環境対策だ。

経済対策55兆円の2割どまり

脱炭素・デジタル乏しく

政府が19日に決めた経済対策は財政支出が55・7兆円と過去最大に膨らんだ。世界的にも遜色ない規模とするが、成長を意識した戦略は全体の2割程度にとどまる。新型コロナウイルス禍が収束した後の競争をにらみ、米欧では再生可能エネルギーのインフラ整備など複数年の投資計画が走り出す。日本も無駄を削減しつつ、環境・デジタルなど成長分野に集中するメリハリが求められる。(1面参照)

学び直し支援も後手に

待できるとして同国が格付け見通しを一段階引き上げた。

対照的に日本はメリハリを欠く。脱炭素へ再生エネの普及加速が欠かせない。電力広域的運営推進機関(広域機関)は総

V技術者などの人材育成を始めた。

経済協力開発機構(OECD)によると日本は

職業訓練にかかる公的支

出の割合が先進国で最下

位。岸田文雄首相は3年

間で4千億円の人材投資

を表明したものの、具体

的な中身はこれからだ。

コロナ対策には予備費

を含めて全体の6割弱の

エネルギーの割合をう

再生能源に欠かせ

ない次世代の送電網を整

備するために約7・4兆

円を投じる。電気自動車(EV)の普及へ、8・6兆

0億円をかけて充電設備

を全国に50万基つくる。

債務問題に苦しんでき

たイタリアもドラギ首相

が環境対策について「国

の運命を左右する」と発言する。欧州連合(EU)の復興基金を活用し、水素ステーションの整備や送電網の投資に2兆円を上げ、財政健全化が期

正予算案に面での増強の

整備の促進」と明記した

ものの、実際の支出は補

正予算案に面での増強の

整備の促進」と明記した

正予算案に面での増強の

整備の促進」と明記した

ものの、実際の支出は補

正予算案に面での増強の

整備の促進」と明記した

ものの、実際の支出は補